

思いもよらない災害が!! 命を守る日頃の備え



写真は、4年前市内で起こった土砂災害です。雨の多いこの季節、万が一に備えましょう。詳しくは危機管理室 ☎ (740) 1145 へ。

■水害・土砂災害に備え 気象情報の確認を

市では市役所と黒川公民館に雨量計を設置し、県が設置している多田院雨量観測局と併せて市の北・中・南部の雨量情報を把握して、市ホームページで気象情報を案内しています。万が一に備えて、気象情報に注意し、日頃から家族で防災について話し合っておきましょう。

大雨などの場合は、発表される注意報、警報やその他の気象情報を活用して、早めに

行動を取ることが、あなたや家族の命を守ります。特に、気象庁が25年8月から運用を開始した「特別警報」が発表された場合は、数十年に一度しか無いような非常に危険な状況です。屋外の状況や避難勧告・指示などに気を付け、直ちに命を守るための行動を取ってください。

また、土砂災害は、いつでもどこで発生するか分からないため注意が必要です。発生する前兆現象として、①小石が転がり落ちてくる②地面にひび割れができる③地鳴りが聞こえる④山の斜面から水が噴出し始めるといった状況があります。気が付いたときは、周りの人と安全な場所に避難してください。

■避難情報に注意を

昨年発生した台風18号は、9月15日から16日にかけて本市に大雨をもたらした。黒川雨量局では総雨量290mmを観測しました。この降雨により猪名川の水位が上昇したことから、多田地区の一部に「避難勧告」を発令。幸いにも浸水被害は生じませんでした。市内6カ所で土砂災害が発生

時は、避難所が開いていない場合がありますので、事前に危機管理室 ☎ (740) 1145 へ確認してください。

■かわにし安心ネットに登録を

市内の災害（警報、注意報などの気象情報・避難および災害情報）などに関するお知らせをメールで配信しています。かわにし安心ネット（URL = <http://bosai.net/kawanishi/>）から画面に従って登録を（市ホームページからも接続可）。詳しくは危機管理室へ。

■地震災害の備えも忘れずに 「フェニックス共済」のご案内

いつ起こるか分からない地震災害に対して、日頃から備えが大切です。家具固定や住まいの耐震化などの対策を。

県住宅再建共済制度（フェニックス共済）説明会および申し込み受け付けを、6月9日（月）、7月7日（月）、8月4日（月）、9月1日（月）、いずれも午前10時から午後4時まで市役所1階市民ギャラリーで行います。

フェニックス共済は、年額5,000円で、半壊・全壊住宅の再建、購入時に最大600万円の給付が受けられます。県内に家を所有しているか県内居住者が対象で、①地震保険や他の共済に加入していても加入・給付可②住宅の築年数や構造・規模などとは関係なく定額負担・定額給付一が大きな特徴です。8月から一部損壊特約もスタートします。先行加入受け付け中。加入には印鑑、口座番号が必要です。詳しくは（公財）県住宅再建共済基金 ☎ 0797 (83) 3122 へ。

■緊急地震速報訓練

6月5日（木）午前10時15分頃、かわにし安心ネット登録者を対象に、震度5弱を観測したとの想定で情報配信を行います。

情報を確認したら、机の下に隠れるなどの行動を。詳しくは市ホームページをご覧ください。

■避難準備情報

- ①情報の意味…人的被害の発生する危険性が高まった状況。高齢者や体の不自由な人など避難に時間がかかる人へ避難を促すもの
- ②発表される基準…小戸、多田院水位観測所の避難判断水位に達する見込みで、さらに水位の上昇が予想される時
- ③発表された時の行動…避難に時間がかかる人は避難行動の開始を。支援者は支援行動の開始を

■避難勧告

- ①情報の意味…人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況。居住者などへ避難を促すもの
- ②発表される基準…小戸、多田院水位観測所の氾濫危険水位に達する見込みで、さらに水位の上昇が予想される時
- ③発表された時の行動…避難所や自宅の上階など安全な場所へ、隣近所で助け合って避難を

■避難指示

- ①情報の意味…河川の氾濫や堤防の決壊など、危険性が非常に高まった状況、または被害が発生した状況。居住者などを避難のため立ち退かせるもの
- ②発表される基準…避難勧告発表後、人的被害が見込まれるとき
- ③発表された時の行動…直ちに安全な場所に避難するなど、命を守る行動を取ってください！



川西の北部にある日本一の里山。ここに茂る若葉に潤いを与えてくれる雨の季節がやってきました。恵みの雨は、命の芽吹きになくてはならないものですが、近年、頻繁に発生している局地的な豪雨は、大きな災いをもたらします。

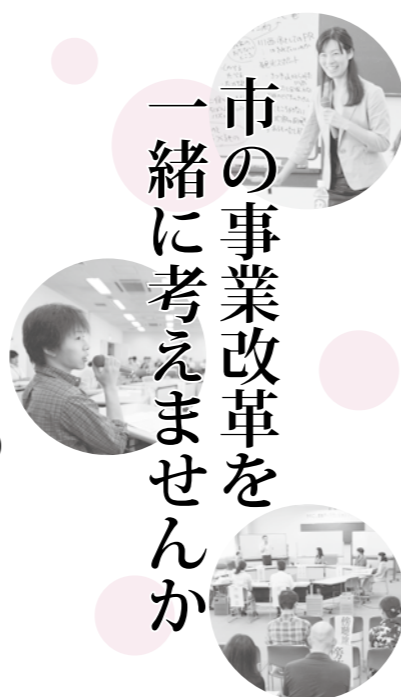
昨年9月に発生した台風18号に伴う大雨で、一庫ダムは、昭和58年の完成以降最大の貯水量に達しました。しかし、ダムの洪水調節操作で放流量が抑えられたため、下流域の水位を低減できました。また、県が多田地域で進めていた河川改修も功を奏し、幸いにも人的被害を出さずに済みました。こういったインフラ整備は、安全で安心なまちづくりに欠かせないものです。

いっしょにやってくるかもしれない災害 備蓄品などの防災チェックを

先月、上京していた早朝、震度5弱の地震に遭遇いたしました。東京都内で震度5弱以上を観測したのは、東日本大震災以来のことだったそうです。久しぶりに大きな揺れを体感し、川西は大丈夫かと心配しましたが、市内でも幸い大きな被害もなく、「安心する」とともに、災害はいっしょにくるかもしれないと実感した朝でした。

市では、防災無線の整備を進めるとともに、大雨や地震を想定した訓練を行っています。机上だけでなく、実際に体を動かすことで確認できることが多くあります。この季節、皆さんも今一度、避難所の確認や備蓄品などの防災チェックをしていただけたらと思います。

市の事業改革を 一緒に考えませんか



【市民メンバーを募集中】
7月から行う「かわにし事業ディスカッション2014」で、市が実施している事業のあり方などについて、市の職員とともに考えてもらう市民を募ります。

応募資格は、市内在住・在勤・在学中、本市のまちづくりに関心があり、7月から12月の間に計5回行う公開議論に参加できる人です。

定員は3人で、選任期間は、7月から12月末まで。希望者は、専用の応募用紙に必要事項を書き、6月16日（月）までに、〒666-8501・経営改革課へ持参か郵送を。ファク

ス(740)11315、またはメール kawa0176@city.kawanishi.lg.jp。
応募多数の場合は、居住地や年齢、応募動機などを考慮して選考します。応募用紙と対象事業調査は、6月2日（月）以降に市役所4階経営改革課と2階の市政情報コーナー、各公民館に設置し、市ホームページにも掲載します。詳しくは同課 ☎ (740) 1120 へ。

※事業ディスカッションとは：公開の場で、学識経験者をコーディネーターとし、皆さんと市職員が複数回議論。市が実施する事業のあり方を見直し、より効果的な事業展開をめざすもの。